

ローバルと溶融亜鉛めっきの 屋外暴露9ヶ年 経過報告

《試験目的》

屋外暴露によるローバル、溶融亜鉛めっき(HDZ55)のさび止め能力を検証する。

《試験期間》

2002年7月15日～2011年7月15日(現在も試験継続中)

《試験方法》

JIS Z 2381(2001)大気暴露試験方法通則に準ずる。

試験条件: 直接暴露及び南面30度

(参照) 暴露場写真



《試験片》

名称	寸法(縦×横×高さmm)	使用鋼板
一般構造用圧延鋼材 (中目サントプラスト処理)	300*150*1.6	JIS G 3101 (SS-400)
溶融亜鉛メッキ (JIS H 8641 2種 HDZ55)	300*150*3.2	JIS G 3101 (SS-400)

《試験場所》

(財)日本塗料検査協会 西支部

住所: 大阪府寝屋川市成田町2-3(東経135° 38' 33" 北緯34° 46' 24")

《評価方法》

目視による外観の評価

《総合評価》

9ヶ年大気暴露後の評価

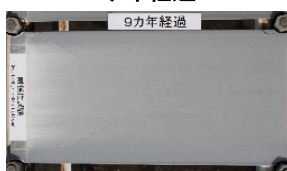
◇ローバルについて(膜厚80 μ m)

塗膜色の変化は見られるが、さびの発生は皆無であった。

暴露前



9ヶ年経過

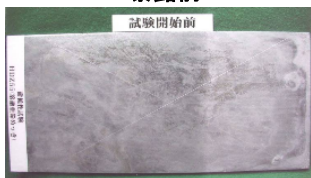


◇亜鉛めっき(HDZ55)

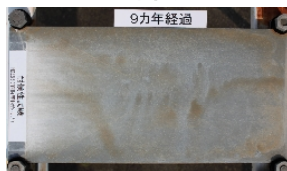
やけ部にややさびが発生した。亜鉛鉄合金層の鉄成分が酸化しさびとなっていると思われる。

ただし、さび発生はやけ部表層部のみであり、軽度であると推測する。


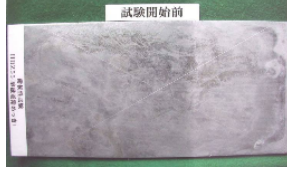
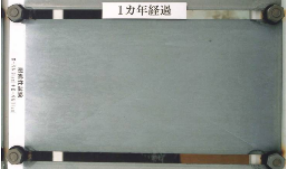
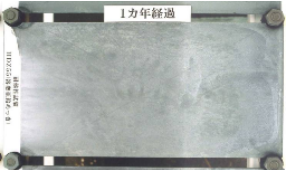

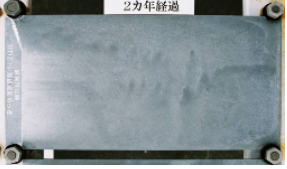


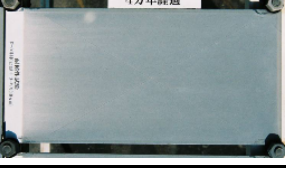
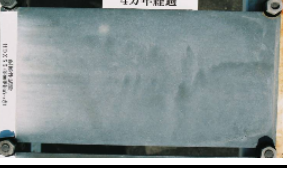
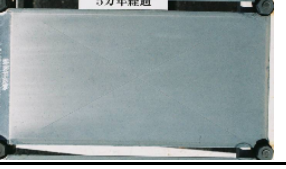



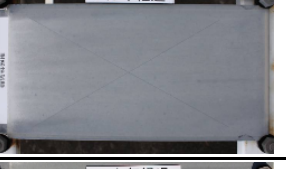


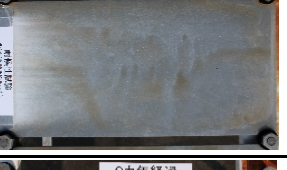


暴露前



9ヶ年経過



※詳細は別紙 写真資料参照

	ローバル	亜鉛めっき (HDZ55)
暴露前		
1ヶ年経過		
2ヶ年経過		
3ヶ年経過		
4ヶ年経過		
5ヶ年経過		
6ヶ年経過		
7ヶ年経過		
8ヶ年経過		
9ヶ年経過		

※撮影日が異なるため、写真の明るさに違いが出ております。